

機械器具25 医療用鏡
一般医療機器 再使用可能な内視鏡用非能動処置具 38818000

ホープ ノットプッシャー

【形状・構造及び原理等】

本品は、内視鏡下手術で体外結紩を行う際、体外で作った縫合糸の結び目を、トロカーパスを用いて結紩点に誘導するために用いる。



原材料 ステンレス鋼

【使用目的又は効果】

内視鏡下手術時に組織の結紩に用いる。本品は再使用可能である。

【使用方法等】

＜使用前＞

- ・本品は未滅菌品のため、使用に際しては【保守・点検に係る事項】を参照して、必ず洗浄を行い、所定の方法で滅菌する。
- ・手術前に【保守・点検に係る事項】を参照して、点検を行う。

＜使用方法＞

1. 体外結紩用縫合糸を、鏡視下で組織に貫通させた後、トロカーパスを用いて針のついた糸を引きだし、針を外す。
2. 結び目を作り、縫合糸の結び目のサイドを本品で滑らせる。
3. 結び目がしっかりと締まっていることを確認する。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

- ・術者は、手術前に用意された本品に汚れ、腐食、損傷、曲がり、傷等の異常がないことを確認すること。
- ・本品と併用するその他の手術器具は、使用前にそれらの説明書を熟読すること。

【保管方法及び有効期間等】*

- ・滅菌済の状態で保管する際には、再汚染を防ぐため清潔な場所に保管するとともに、滅菌有効期限を管理すること。

【保守・点検に係る事項】

- ・使用前に外観を点検し、異常が認められるときは使用しないこと。
- ・使用後は、速やかに洗浄し、高圧蒸気滅菌またはエチレンオキサイドガス滅菌すること。
- ・洗浄にあたっては院内の規定に従い、また、滅菌にあたっては滅菌器の取扱説明書を必ず参照すること。

＜洗浄方法＞

- ・洗浄液は、医療用中性洗剤を使用する。アルカリ性、酸性の洗浄剤を使用する場合には、残留物が残らないように純水にて十分にすすぎを行うこと。

自動洗浄器

- ・適切なラックを使用し、他の器具と重なり合わないように入れる。
- ・内視鏡機器のプログラムが設定されている自動洗浄器を使用する。(洗浄方法については、自動洗浄器の製造販売元の取扱説明書を必ず参照すること。)
- ・洗浄剤や水質によっても製品にダメージを与える場合があり、器具に変質等が生じた場合、直ちに自動洗浄器の使用を中止し、洗浄剤、水質の確認を行うこと。

用手洗浄

1. 洗浄溶液に浸漬する。(時間、濃度、温度については、洗浄剤の製造販売元の指示に従うこと。)
2. 柔らかいスポンジでよく洗い、血液や微細組織片など、こびりついた成分を全て取り除く。
3. 洗浄剤の残留がないよう蒸留水・脱イオン水で十分にすすぐ。
4. すぐに乾燥させる。

超音波洗浄

- ・必要に応じて行う。(ただし、5分以内)。

＜滅菌方法＞

- ・高圧蒸気滅菌(オートクレーブ滅菌)またはエチレンオキサイドガス滅菌する。(時間、温度及び圧力の設定は、滅菌器の製造販売元の取扱説明書を必ず参照すること。)

オートクレーブ滅菌 プレバキューム式 134°C 5分 推奨

＜点検項目＞

- ・手術前に必ず器具の安全性を確認すること。
- ・汚れ、曲がり、傷、錆、がたつき等がないか

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者: 株式会社平田精機

〒273-0128 千葉県鎌ヶ谷市くぬぎ山2-10-17

TEL 047-386-2101